

中国語『補語』

～様態補語編＋程度補語～

様態補語とは

動詞や形容詞の後に構造助詞“得”を伴い、その後で、動作・行為・状態がどうであるかを具体的に詳しく説明・描写する補語を「様態補語」と言います。

様態補語が使えるには条件があり、「評価」「描写」「結果」に限られます。例えば

「評価」：林同学走得很慢。－林くんは歩くのが遅い

「描写」：我忙得没有时间睡觉－私は忙しくて寝る時間がない（寝る時間もないほど忙しい）

「結果」：她紧张得一动也不能动了－彼女は緊張して動けなくなった。

*最後の「結果」ですが、単に動作の結果を表すだけなら結果補語を使いますが、**動作が原因**になって至った**結果の状態**を表すには様態補語を使用するのが一般的です。

様態補語の作り方

様態補語の作り方は次の語順です。（*二番目の動詞と三番目の目的語はない時もあります。）

主語	*動詞	*目的語	動詞	得	A
----	-----	------	----	---	---

ここで注目したいのは「得」の前の動詞です。様態補語では必ず「得」の前に動詞が来ますので次ようなミスはよくある間違いです。（中検によく出ます）

✕ 他说汉语得非常流利

◎他说汉语说得非常流利

上のようにやってしまうのがよくあるミスです。上は汉语=目的語の直後に「得」つまり「得」の前に動詞ではなく目的語があります。これでは様態補語のルールに反するので少しまどろっこしいですが下◎のように同じ動詞を2回繰り返してあげる必要があります。これは中検でも非常によく出るので絶対に覚えておきましょう。

また語順ルールのAの部分には単語やフレーズなども入れることができます。例を5つほど見てみましょう。

- ・我女朋友每天睡得很晚。→A=形容詞
- ・他说英语说得比我更好。→A=比較文
- ・我困得连早饭也不想吃。→A=连～也～構文
- ・她长得又可爱，唱得又酷。→A=又+形容詞+又+形容詞
- ・他踢足球踢得怎么样？→A=疑問詞疑問文

否定/疑問文の作り方

否定文や疑問文を作る際は原則「得」の後の表現つまり様態補語の部分を否定/疑問にします。

- ・老师说得不慢。－先生は話すのがゆっくりじゃない。
- ・老师说得慢不慢？－先生は話すのがゆっくりですか？

- ・鈴木同学学习汉语学得不太认真。－鈴木くんは中国語学習にあまり真面目ではない。
- ・鈴木同学学习汉语学得认真不认真？－鈴木くんは中国語学習に真面目ですか？

- ・我爸爸吃得不快。－パパは食べるのが速くない。
- ・你爸爸吃得快不快？－あなたのパパは食べるのが速いですか？

程度補語とは

形容詞や一部の心理活動を表す動詞の後について、程度が高いことを強調する補語を「程度補語」と言います。すべて「すごく」「ひどく～だ」というように程度が高いことを表します。程度補語は「得」を含むものと「得」を用いず直接結ぶものの2種類あります。数も少ないので一気に覚えてしまいましょう。（どれも微妙なニュアンスの違いはあれど基本的には程度が非常に高いことを表しています）

「得」を伴うもの	
程度補語	意味
得多	差が大きいことを示す。 一般に比較の意味がある
例：他的身高比我高得多。	
得很	程度が高いことや甚だしいことを示す。
例：市场竞争激烈得很。	
得慌	感覚上ある程度を超えていることを示す。 不快な感覚を表す語がよく一緒に使われる
例：这体力活实在累得慌。	
得要命	程度が甚だしいことを示す
例：期末考试快要到了，我最近忙得要命。	
得要死	程度が極点に達することを示す
例：他们都吓得要死。	
得不行	程度が高いことや甚だしいことを示す。
例：这家店火得不行。*火=はやる、人気になる	
得不得了	程度が高いことや甚だしいことを示す。 「～でたまらない、ひどく～だ」
例：日本的夏天热得不得了。	

「得」を伴わないもの		
程度補語	意味	例
多了	程度が高いことや甚だしいことを示し、比較に使う	好多了 AよりBの方がずっと良い
极了	程度が高いことや甚だしいことを示す。	高兴极了 嬉しくてたまらん
坏了	めちゃくちゃ～だ *「死了」に似てる	累坏了 *通常好ましくないことに使う
死了	死ぬくらい～だ	热死了 暑くて死にそうだ
透了	好ましくないことに使う	恨透了 骨の髄まで恨んでいる

語順は基本的に2種類

- ・形容詞＋得＋副詞
- ・形容詞/感情動詞＋多了/极了/坏了/死了/透了

メモ：程度補語の微妙なニュアンスは日本語では少し言い表しづらい時があります。また言語ですから例えば「ネガティブな意味にしか使いません」と言ったところで例外がある時もあります。文章中や会話の中で程度補語の表現に出逢ったらどんな単語とどんな程度補語が組み合わさるのか逐一メモしておきましょう。